

修了生の活躍事例

東北能開大の志望理由と学んだこと

小さいころからものづくりに興味があり、進路について考えている際、高校の先生の勧めで、東北ポリテクカレッジ生産技術科（専門課程）に進学しました。入校の決め手は何より、他の4年生の大学と比べ実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べるところです。

専門課程終了後、応用課程生産機械システム技術科に進学し、専門課程で学んだスキルのさらなるブラッシュアップを図りました。

ポリテクカレッジに入校し、自分の強みを見つけられたことで、今の仕事に出会えることができました。

学生時代取り組んだことと後輩へのアドバイス

学生時代取り組んだ中で一番印象深いのは、4年次1年かけて取り組んだ「開発課題」です。私のグループでは「水耕栽培業務改善向け装置の開発」に取り組みました。他の学科の仲間たちとグループワークで進めました。わからないことが多く大変でしたが、その分完成した時の達成感がありました。

アドバイスとして、学校、アルバイトで小さいことをおろそかにせず取り組んで下さい。その積み重ねが将来の糧になります。

八十島プロシード株式会社

浅野 真樹 さん

東北職業能力開発大学校
応用課程

生産機械システム技術科

平成29年度 修了



一日も早く一人前の技術者になりたいと考えています

現場にも慣れ徐々に難しい仕事を任されるようになってきました。まだまだ覚えることもたくさんあります。今後は5軸加工等、難しい仕事にも積極的にチャレンジしていこうと考えています。

積極的に仕事に取り組むことにより、自分のスキルを高め、お世話になった上司の期待に応えたいです。一日も早く一人前の加工技術者になれるよう、日々の業務を頑張っていきたいです。

就職先企業での活躍

浅野 真樹さんの業務

私は、多様なお客様のニーズに応え、高い技術が要求されるエンジニアプラスチックの切削加工を行っている「八十島プロシード」で加工の仕事に取り組んでいます。

図面をもとに加工段取りを考えたりNCプログラムを作成し、加工を行うのが主な仕事です。

勤務中の浅野さん▶



職場からの声

配属されて5年目になり、難易度の高い仕事にも真面目に最後までやり遂げるなど、社会人としての自覚も出てきたように思います。仕事でわからない点があっても一人で抱え込まずに、先輩にきちんと確認してやり遂げる点も評価できます。今後もより意欲的に難しい業務に取り組んで、一人前の技術者として活躍してほしいと思います。

八十島プロシード株式会社（神戸市中央区）

昭和12年に大阪で創業したエンジニアプラスチックの切削加工・販売の会社です。神戸市中央区に本社、仙台、滋賀、大阪、九州に製造拠点があります。「お客様が求めるその先をいこう」のかけ声もと、社名の「プロシード」の如く、常に前進し、全社員が飽くなき探究心で、世界のものづくりを支える一員となるよう、医療、航空、ロボット、半導体等様々な分野のエンジニアプラスチックの高品質・高精度加工に取り組んでいます。

（事業内容）

・高精度・精密加工、自由曲面加工、溶接溶着加工、3D設計、リバースエンジニアリング など

現在東北能開大の修了生10名が活躍

